

## 世界に広まる岡山の公民館 (Kominkan)

第二次大戦後に作られた公民館は、1990年代よりユネスコを通じて世界に広がり、2014年には岡山市で「ユネスコ世界公民館会議」が開催された。その理念は岡山大学の前身である旧制第六高等学校の卒業生で、文部省社会教育局長を務めた寺中作雄氏の発案（寺中構想：1946年）から始まっている。

今回は、公民館の発展と公衆衛生・保健医療の分野における研究と教育で活躍されている山本 秀樹先生（本学医学部同窓生）に、公民館の歴史や世界に広がる公民館の現状、社会での学び、国連が2015年に提唱した持続可能な開発のための目標 (SDGs) などについてご講演いただく。

**日 時**：2018年6月29日（金） 19:00～ 講演  
20:00～ 交流会

**場 所**：岡山大学東京オフィス  
東京都港区芝浦 3-3-6 東京工業大学田町キャンパス内  
キャンパス・イノベーションセンター  
TEL：03-6225-2905  
[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/satellite\\_office.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/satellite_office.html)

**講 師**：山本 秀樹 氏  
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科教授  
【プロフィール】

1992年岡山大学医学研究科修了。学生時代に岡山でNGOのAMDA〔アジア医師連絡協議会〕の設立者である菅波茂博士と出会ったことをきっかけに国際協力に関わる。学生時代にタイのマヒドン大学プライマリー・ヘルス・ケアセンターを訪問し、ソマッツ博士〔後の東京大学国際保健学教授〕より、日本の公衆衛生こそタイが必要とされることを知らされ公衆衛生を志す。岡山大学医学部での勤務の傍らAMDA事務局長・副代表、JICAザンビアプライマリー・ヘルス・ケアプロジェクトに従事。その後、大学院環境学研究科の設立、大学院GP「いのちをまもる環境学教育」、ユネスコチェアプログラム(ESD)に従事した。2011年4月に帝京大学公衆衛生大学院の設立に伴い、帝京大学において国際的公衆衛生専門家を養成するMPH(Master of Public Health)プログラムに携わる。

**申込締め切り**：2018年6月22日（金）

**申込・問い合わせ先**：岡山大学東京オフィス 宛  
o-tso@adm.okayama-u.ac.jp

**備 考**：セミナー終了後、有志による交流会を開催いたします（会費は5,000円程度を予定）。

**主 催**：岡山大学 Alumni 東京支部

**協 力**：岡山大学東京オフィス

岡山大学学生総合支援センター キャリア・学生支援室